令和７年度 第３回社会教育委員会議 資料集

資料１　しゅうなんコミュニティクラブについて

資料２　中須自然の家紹介資料

資料３　所管する事務の方向性調査

資料４　テーマ設定について

参考資料１　令和７年度第２回周南市社会教育委員会議の要約

参考資料２　参考データ

資料１

2026年3月27日
第３回社会教育委員会議資料

しゅうなんコミュニティクラブについて

教育委員会　生涯学習課

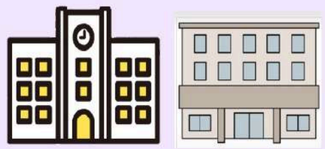
02

しゅうなんコミュニティクラブとは

【テーマ】「つどう」「つくる」「つながる」

中学生が学校等に「つどい」、自分たちで話し合って計画を「つくり」、地域の中で多世代とも「つながって」活動するクラブ

しゅうなんコミュニティクラブ（コミクラ）の仕組み



学校や
市民センター等で活動

主役は中学生

中学生がやってみたいことを
自分たちで考え、自分たちで活動します



すべての中学校区にひとつずつ設置



コミクラサポーターが
中学生の活動を支援

サポーターは周南市が配置

スポーツ活動
サポートセンター

かるちゃあ
サポートセンター

多様な人たちとの
連携・協力

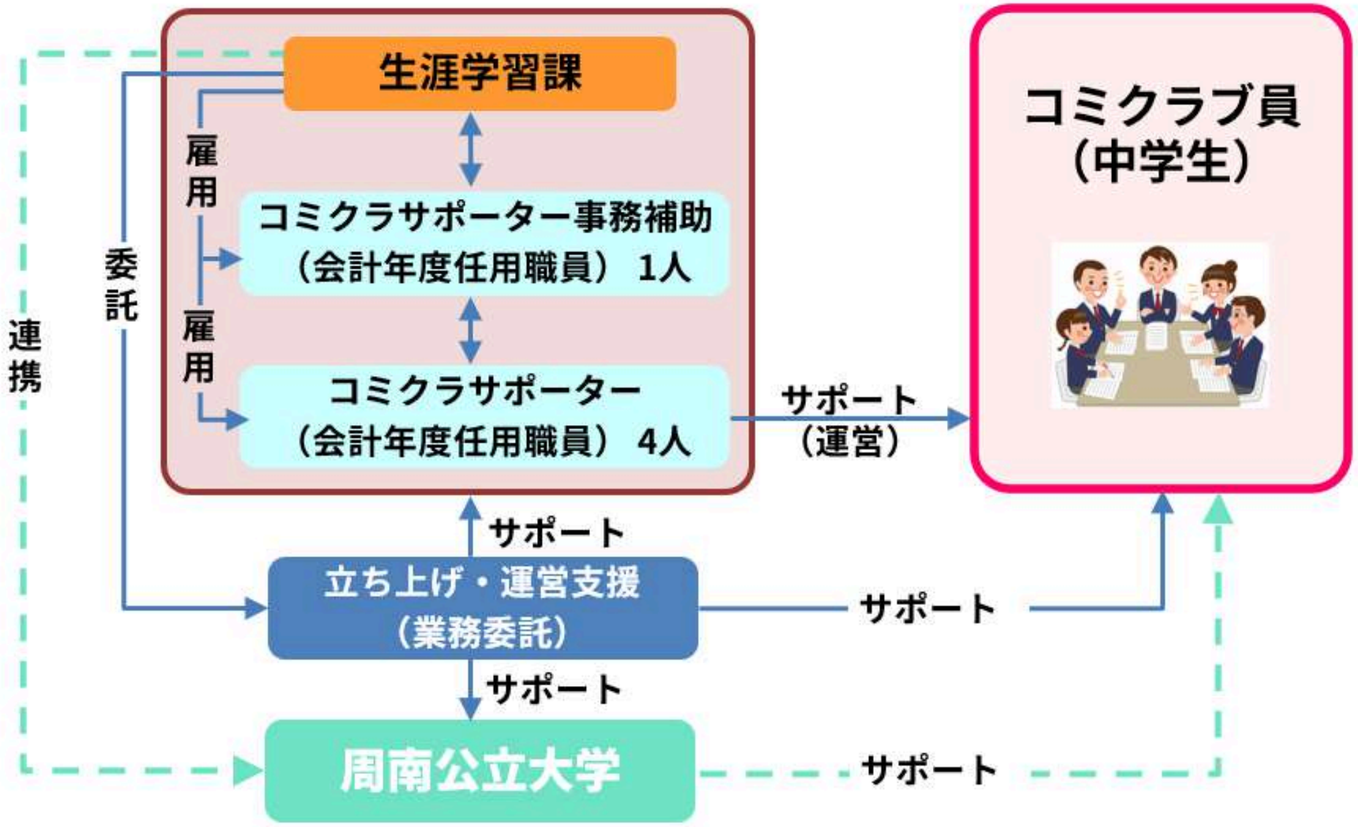
地域住民
企業

地元学生
周南公立大学など

03

運営体制について

コミクラサポーターは、コミクラにおける中学生の「やってみたい」を実現するために、企画から計画、準備、実行までをサポートします。
会計年度任用職員４名を雇用する予定で、各クラブを１名から２名体制で回り相互に連携しながら当日の運営や関係者との連絡調整等を行います。
また、あわせてコミクラサポーターの事務補助を行う会計年度任用職員１名を雇用する予定です。



04 コミクラサポーターの配置例について

13中学校区に配置

	鼓南中	太華中	岐陽中	住吉中	菊川中	桜田中	須々万中	周陽中	秋月中	富田中	福川中	熊毛中	鹿野中
月			★									★	
火	★						★				★		
水						★		★	★				
木		★		★	★								
金										★			★



業者委託 ★
サポーターの研修
及び伴走支援



コミクラサポーター
週4日　3時間
4名程度雇用



生涯学習担当職員
４人体制

05 実証事業について









【秋月中学校】
人　　数：５人　(最大４６人)
実施期間：令和６年９月１１日～
開催時間：平日放課後　１５時前後～１６時半頃
　　地域大会・ボランティアは休日参加
実施回数：Ｒ６年度 １７回／Ｒ７年度 ２４回（令和８年２月２５日現在）
実施内容：進化系鬼ごっこ・小学校の思い出すごろく・地域のスポーツ大会の企画・
　　ペタンク、モルック、ボランティア活動・チョコレートづくり・ドッジボール
協　　力：周南公立大学　岡井准教授（令和６年度のみ）
　　岡井ゼミの学生４名



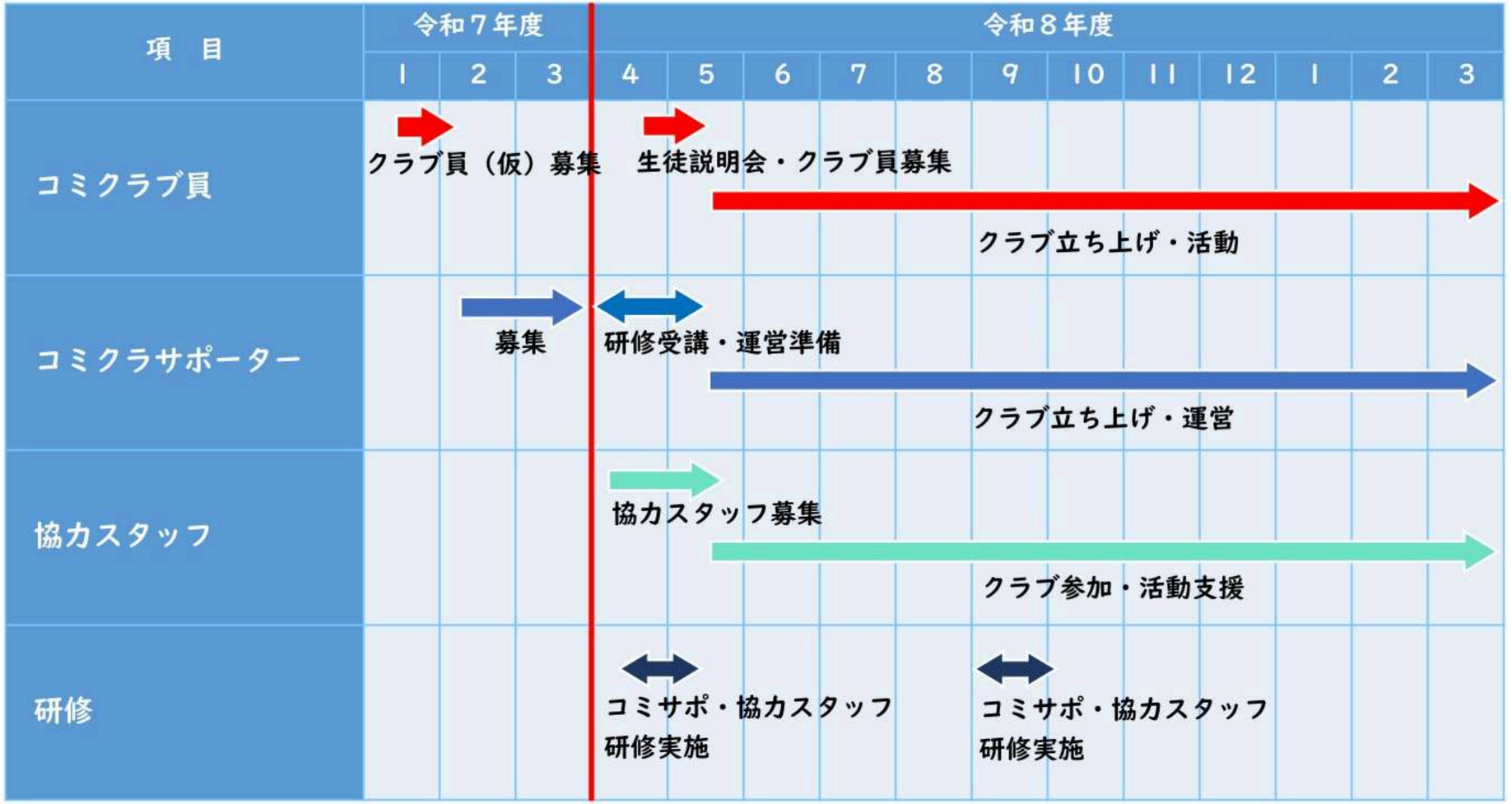





【周陽中学校】
人　　数：平均１５人程度　(最大４３人)
実施期間：令和７年７月１日～
開催時間：平日放課後　１５時前後～１６時半頃
実施回数：１７回（令和８年２月２５日現在）
実施内容：バドミントン・ドッジボール・バレーボール・楽器ほか
協　　力：周南公立大学　岡井准教授（令和７年度のみ）
　　岡井ゼミの学生５名

06

スケジュール


項　目
令和７年度
令和８年度
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3
コミクラブ員
クラブ員（仮）募集
生徒説明会・クラブ員募集
クラブ立ち上げ・活動
コミクラサポーター
募集
研修受講・運営準備
クラブ立ち上げ・運営
協力スタッフ
協力スタッフ募集
クラブ参加・活動支援
研修
コミサポ・協力スタッフ
研修実施
コミサポ・協力スタッフ
研修実施

しゅうなん
コミュニティクラブって
どんなクラブ？

コミクラって
呼んでね♪

Presented by 生涯学習課

鼓南中学校区
太華中学校区
岐陽中学校区
住吉中学校区
菊川中学校区
桜田中学校区
須々万中学校区
周陽中学校区
秋月中学校区
富田中学校区
福川中学校区
熊毛中学校区
鹿野中学校区

コミクラは、13校区にひとつずつ設置

いつ?どこで?

平日放課後に週1回程度
中学校や市民センター
などで活動します。

テーマ

「つどう」「つくる」「つながる」

みんなが集まって、みんなでやりたいことを話し合って、
計画して活動します。地域の人など多世代とつながったり、
いろんな人と一緒に楽しむクラブです。

仲間と仲良くなろう★

つどう

出会い 01

初めましての人や、日ごろ話さない人とも、アイスブレイクを通じて、まずは仲良くなろう。



ルール 02

安心して楽しむクラブにするためのルール作りをみんなでしよう。



つくる

みんなでやりたいことを考えよう★

コミクラでやってみたいことを、みんなで意見を
出し合って考えよう。











つくる

やりたいことが決まったら計画を立ててみよう★

いつ？

活動する日を準備期間も含めて、いつならできるか考えてみよう。
学校行事や参加する人の予定はどうか確認しよう。

どこで？

活動の内容によって、できる場所があるかを考えてみよう。
活動したい日に使用できるかも確認しよう。

必要なものは？

活動に必要なものは何があるか考えてみよう。
自分たちで準備できるもの?
借りなきゃいけないもの?
必要なものを確認しよう。

つながる

みんなで活動しよう★

活動する

みんなで考え、決めたことを、実際にやってみよう。自分たちで決めたルールを守って、ケガなく安全に活動して、楽しい時間をみんなで過ごそう。













コミクラブ員だけでなく、学校のみんなと一緒に活動してみよう★

もっとつながる





企画を立てて募集

参加募集のポスターやチラシを作成して、学校のみんなに声をかけてみよう。

準備が大事

参加した人も楽しく活動できるように、活動の準備をしよう。

ルール説明

ケガなく安全に活動するために、ルール説明をして、みんなで守って活動しよう。

もっと
つながる

コミクラブ員だけで活動するのではなく、地域の人に教えてもらったり、地域のイベントの企画に参加したりして、地域の人たちと交流もできます。







地域の人たちとも交流しよう★

コミクラを楽しもう★

コミクラは学校活動でもありません。ですから、部活動と違って、先生に教えてもらったり、特定のことをしたり、何かを競ったりするクラブではありません。
自分たちがやりたいことを、できる場所で楽しむクラブです。
活動場所がなかったり、必要なものが準備できなかったりすると、できないこともあるかもしれません。活動できるようにするにはどうしたらいいかをみんなで考えるのもコミクラの楽しさのひとつです。
みなさんの校区、地域ならではの、いろいろな活動もできると思います。
何をするかを決めるのは、みなさんです。
放課後の時間を仲間と一緒に楽しみましょう。

■中須自然の家紹介資料

資料２

楽しさいっぱい！学びがいっぱい！

中須自然の家を活用しませんか

子どもたちの
成長を支える
先生へ







中須自然の家は、大田原自然の家で培った理念を継承し、集団宿泊学習及び野外活動等を通して、青少年の健全育成を図る施設です。

モデルスケジュール

宿泊の場合

	1日目	2日目
6:00		起床
7:00		朝のつどい
8:00		朝食
9:00	入所式・オリエンテーション	ビザ作り
10:00	カヌー体験	
11:00		
12:00	昼食	昼食
13:00		清掃活動
14:00	カヌー体験	退所式
15:00		
16:00	野外炊事	
17:00		
18:00	夕べのつどい	
19:00	夕食	
20:00	キャンドルサービス	
21:00	入浴	
	就寝	

日帰りの場合

9:00	入所式・オリエンテーション
10:00	仲間作りゲーム（AFPY）
11:00	ビザ作り 野外炊事等
12:00	昼食
13:00	ネイチャークラフト
14:00	
15:00	退所式
16:00	



住所	周南市大字中須南2281番地 （旧中須中学校）
施設定員	96名（引率者・ボランティアスタッフ含む）
駐車場	20台程度 ※大型バスでの来所はご相談ください。
食事提供	弁当の手配等を行います。 野外炊事も可能です。
休所日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

たくさんのプログラムから やりたいことを選ぶことができます

中須自然の家では、ビザ作りやカヌーなど大田原自然の家で実施していた体験プログラムだけでなく、「木育体験」として、木のたまごプールなど、新たなプログラムも企画中です。



問合せ　▼移転について…周南市教育委員会生涯学習課　青少年教育担当☎0834-22-8697
▼予約・プログラムについて…大田原自然の家☎0834-89-0461

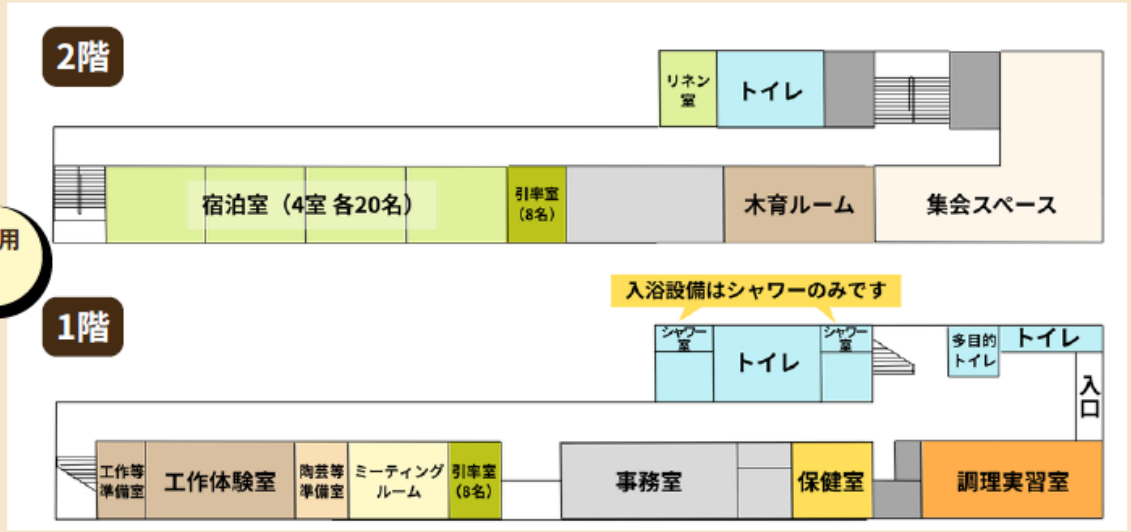
周辺図



自然の中で楽しく学べるよ！



施設平面図



旧中須中学校を活用した施設だよ！



移転完了までの令和8年度スケジュール

4月	大田原自然の家利用可能 ※利用可能なプログラムについては、お問い合わせください。
5月 6月 7月	中須自然の家移転作業期間 ※大田原自然の家は閉所予定ですが、施設利用についてはご相談ください。 ※学校への出張指導は受け付けします。
8月	中須自然の家利用可能

アクセス



資料４

■テーマ設定について

１．提言テーマの方向性を探るための論点

（１）選択と集中

➡ 市民ニーズが高い事業、費用対効果が良い事業、参加者が限定的となっている事業など

（２）新しいニーズへの対応

➡ 高齢者の生きがいづくりや社会参加、デジタル社会に対応した学びの機会の創出、ＩＣＴを活用した新しい手法の導入など

（３）持続可能性の確保

➡ 行政主導だけでなく、地域のＮＰＯや企業、ボランティアなど、多様な担い手との連携、学び・交流プラザや市民センター等の社会教育施設の役割や活用など

２．提言テーマ（案）

（１）持続可能な生涯学習事業の構築

（２）放課後の子どもの居場所の確保

（３）特定の世代に依存しない地域活動の担い手の確保

（４）社会教育施設の役割と機能の整理

（５）行政の役割の見直しと多様な主体との連携・協働

（６）サービスと対価の見直し

参考資料１

■令和７年度第２回周南市社会教育委員会議の要約

１　今後の進め方に関する委員からの主な意見

・議論を「言いっぱなし」にせず、意見書や提言書として公式な成果物としてまとめるべき

・委員がゼロからテーマを作るのではなく、行政（教育委員会や生涯学習課）から具体的なテーマを提示してもらいたい。

・人口減少や少子高齢化といった市の根本的な課題を常に念頭に置くべき。

・計画が固まった後ではなく、計画の初期段階から関与して実質的な意見を反映させたい。

・事業を拡大するだけでなく、現実を踏まえて事業を整理・縮小する（風呂敷を畳む）議論も必要ではないか。

２　決定事項

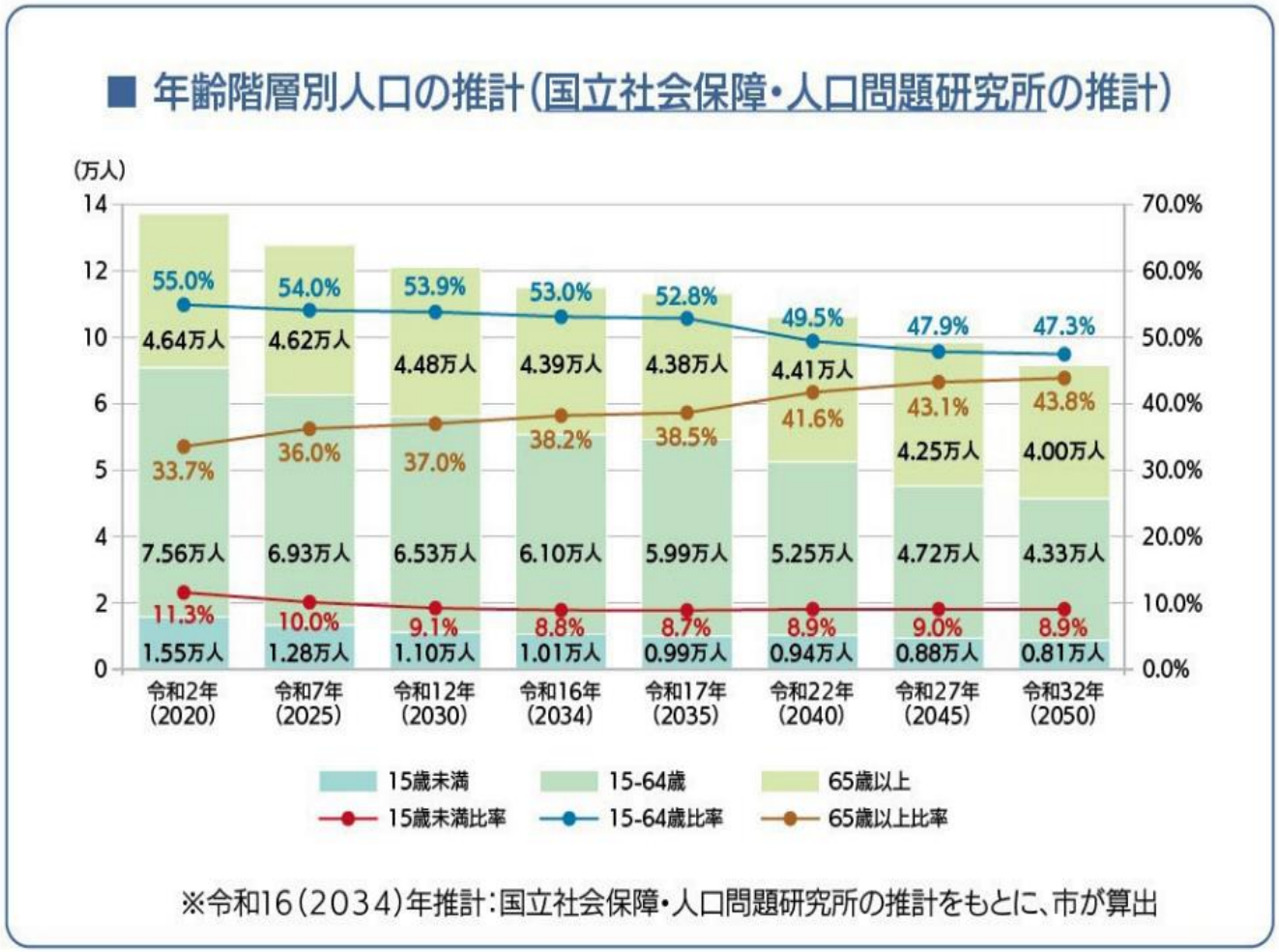
行政からテーマを提示してもらい、社会教育委員会議で意見・提言として取りまとめて教育委員会へ提出するという方向で進めることで一致し、次回の会議に向けて事務局が具体的なテーマ案を準備することとした。

■参考データ

参考資料２

1　周南市の人口推計

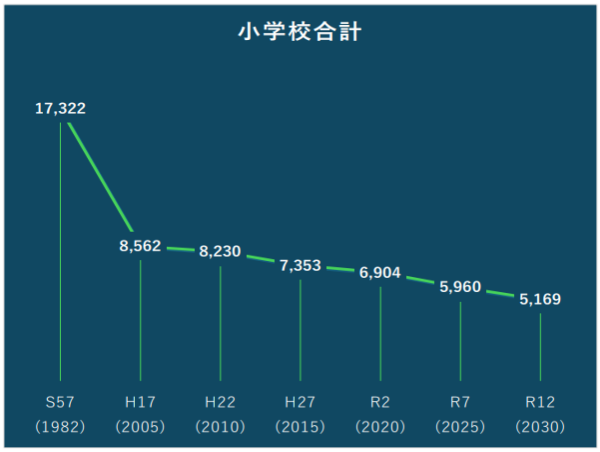


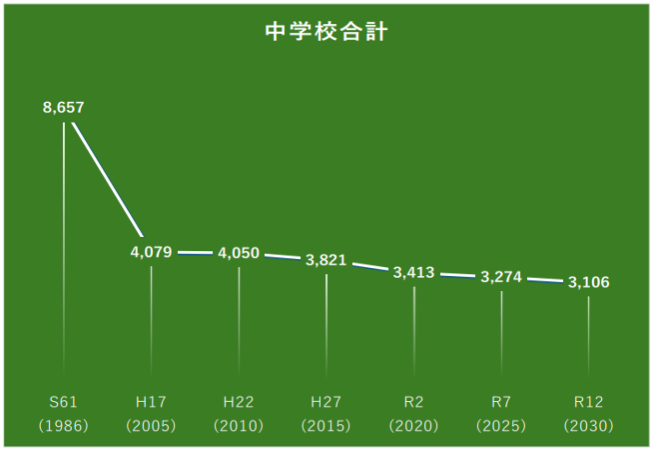


※令和16（2034）年推計：国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに、市が算出

出典：第３次周南市まちづくり総合計画

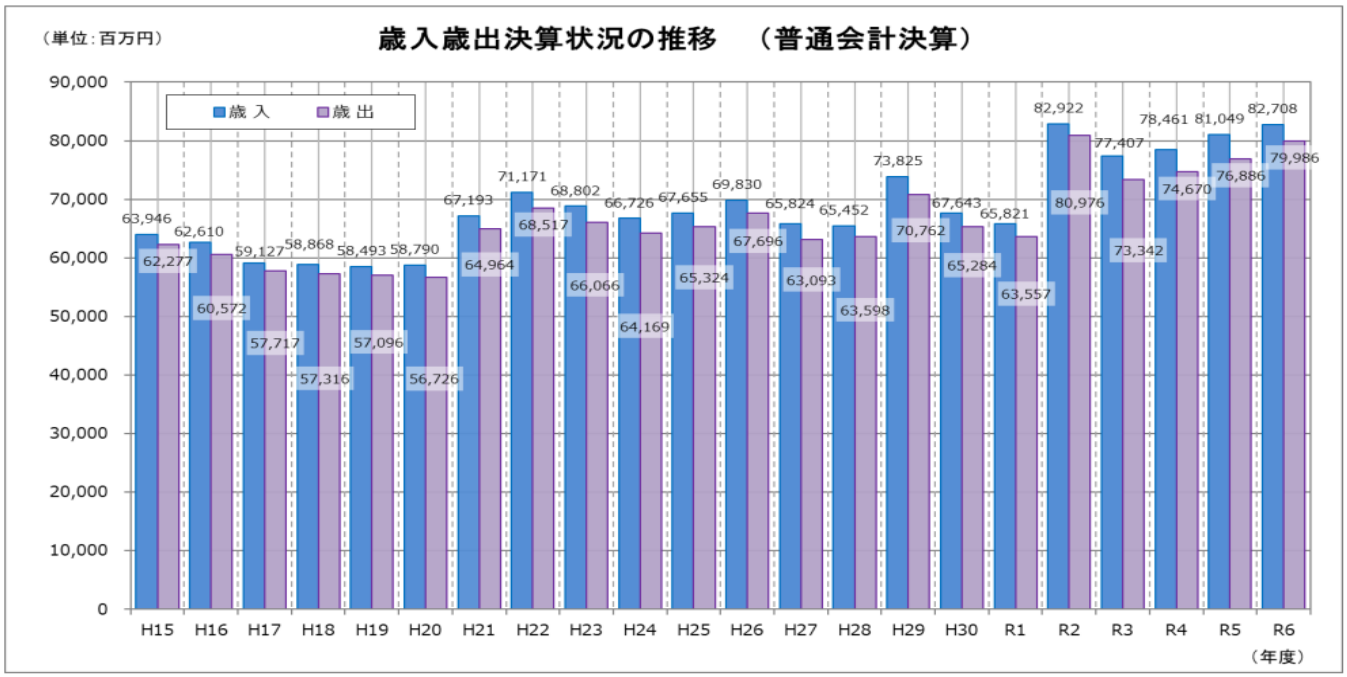
■児童生徒数の推移　※R12（2030）は現在の児童数・未就学児の人口より推計

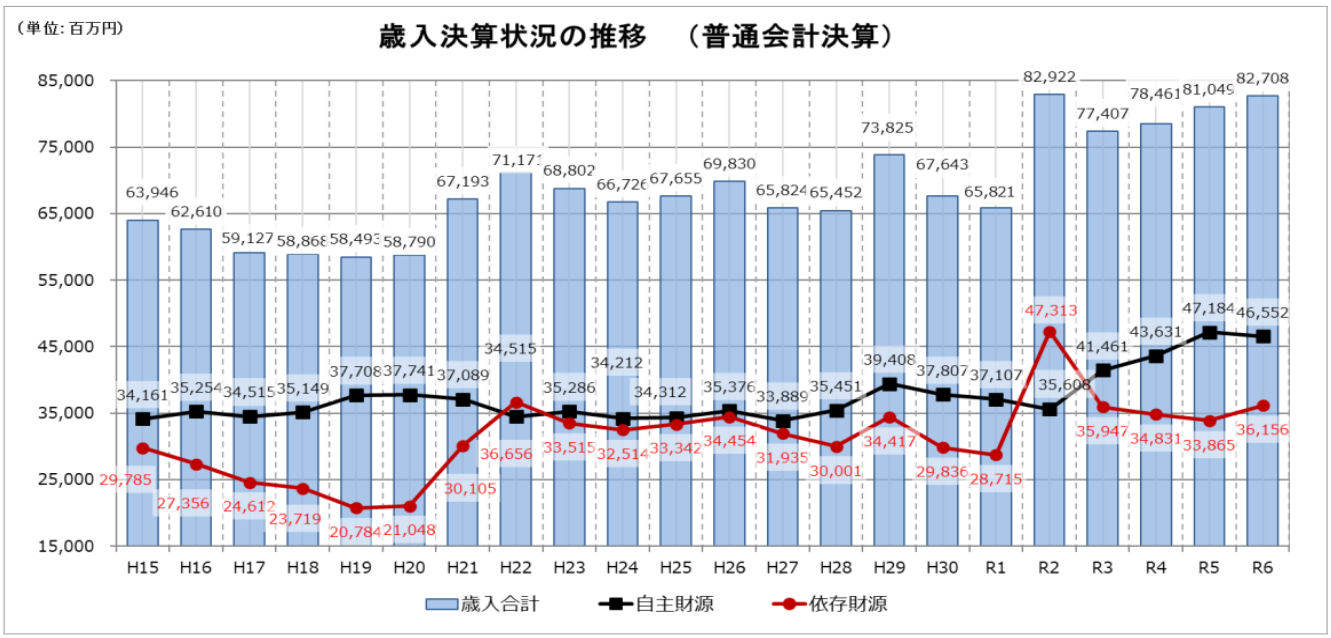




出典：令和７年度第１回総合教育会議資料

2　周南市の財政状況

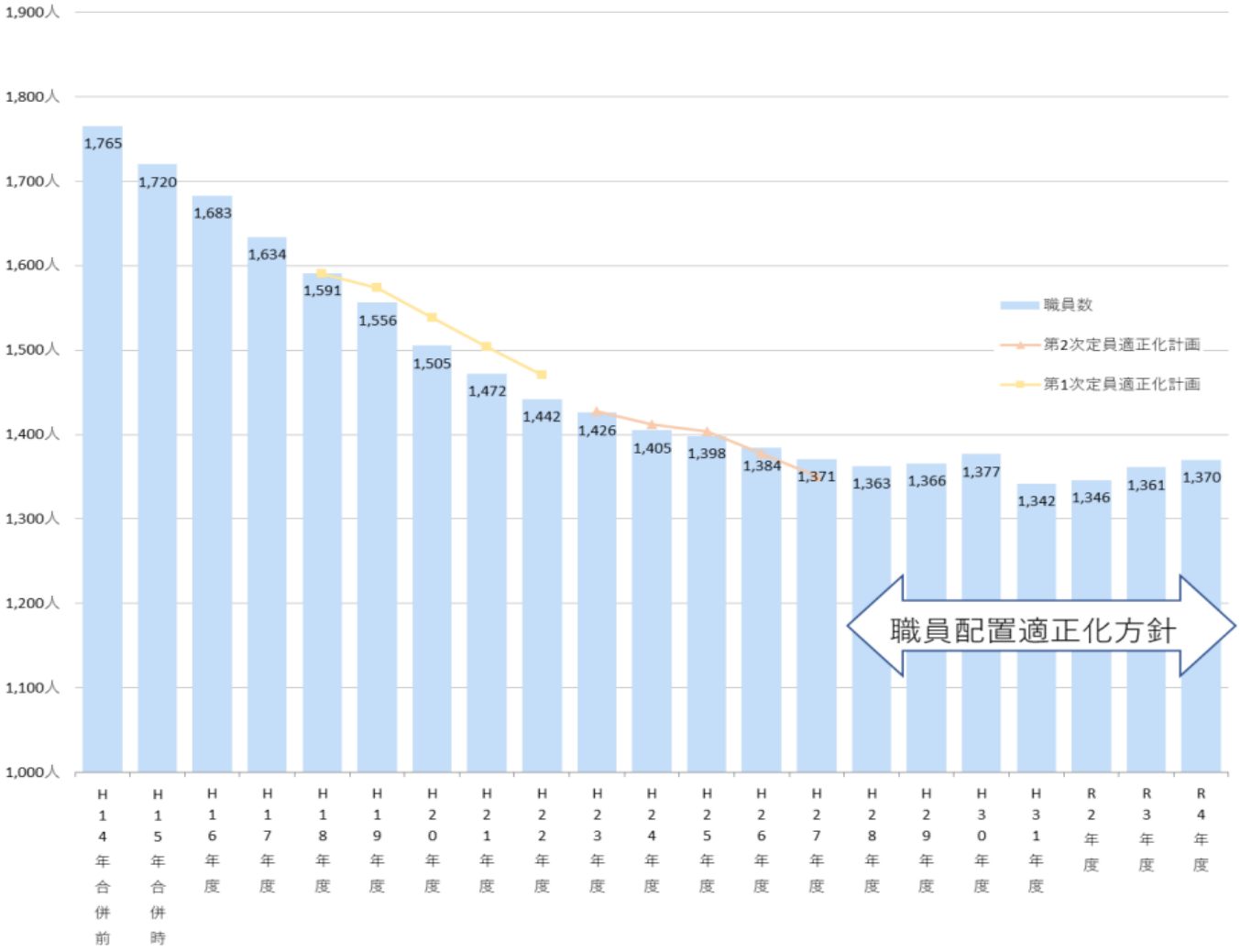


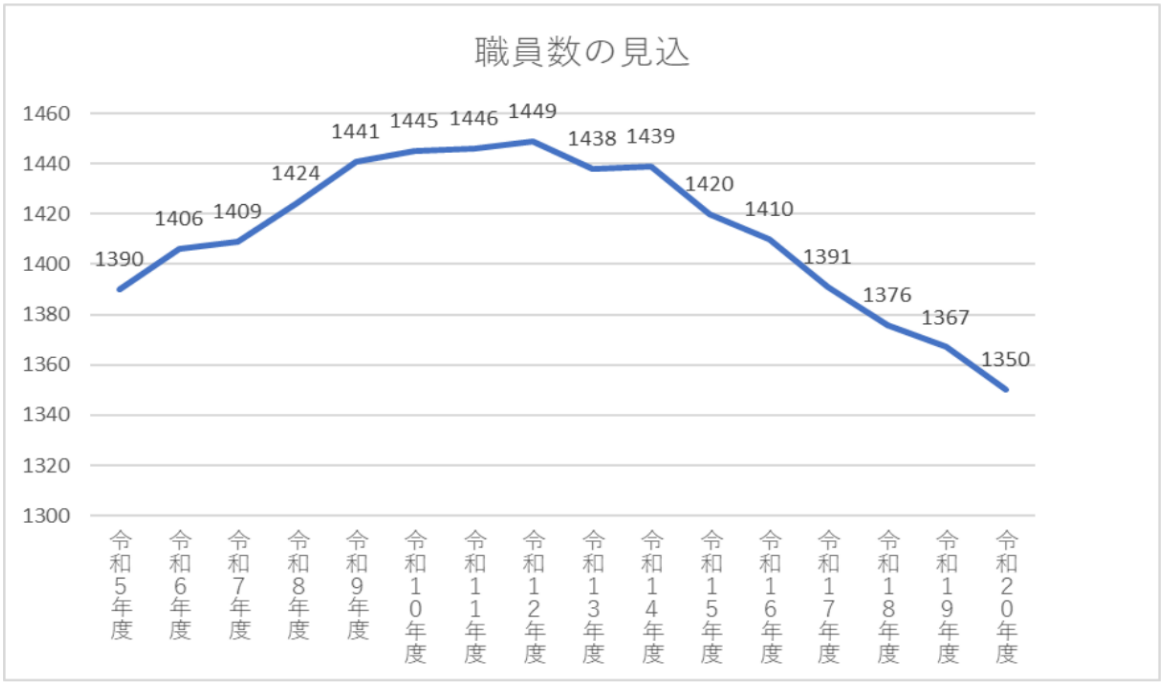


出典：周南市の財政状況（令和７年 11 月）

3　周南市の職員数

合併時からの職員数の推移





出典：周南市職員配置適正化方針